

歴博を活用した「社会的事象の見方・考え方」を養う授業実践

東金市立鶉嶺小学校 山下 貴之

1 実施学年及び教科・領域

小学校第3学年 社会

2 学習のねらいと博物館の活用との関連について

(1) 単元名 古い道具と昔の暮らし

(2) ねらい

①学習指導要領との関連

本単元は学習指導要領（平成20年6月）の第3学年の内容（5）「地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。」の（ア）「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」に関連して設定した。

新学習指導要領では、2内容（4）市の様子の移り変わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。イ次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。（ア）「交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。」の内容に組み込まれている。

②単元の目標

（社会的事象への関心・意欲・態度）

- ・古くから残る暮らしにかかわる道具やそれらを使っていたころの暮らしの様子に関心をもち、地域の人々の暮らしの変化について意欲的に調べている。
- ・地域社会のよりよい発展を考えようとしている。

（社会的な思考・判断・表現）

- ・地域の人々の暮らしの変化について学習問題や予想、学習計画を考え表現している。
- ・道具の変化と暮らしの変化を関連づけたり、古い道具を使っていたころの暮らしと今の暮らしと比較したりして、人々の暮らしの知恵を考え、適切に表現している。

（観察・資料活用の技能）

- ・古い道具の使い方を体験したり、博物館などで昔の暮らしの様子を見学したりして、地域の人々の暮らしの変化について必要な情報を集め、読み取っている。
- ・調べたことを年表や白地図などにまとめている。

（社会的事象についての知識・理解）

- ・古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子を理解している。
- ・地域の人々の暮らしの変化や向上が、人々の願いや知恵によるものであることを理解している。

(3) 博物館との関連

①活用方法 「非来館型活用」

②活用資料

展示場所	活用資料名
第5展示室	・京都西陣の台所復元 ・同潤会アパート復元
第6展示室	・終戦を告げる新聞 ・露店の実物大再現 ・田子倉集落再現模型（500分の1） ・農業の変化、集団就職や出稼ぎの資料 ・スーパーマーケット、夢の島のごみ問題の資料 ・水俣病「怨」の旗 複製 ・日本住宅公団団地実物大再現 ・昭和30～40年代のファッションを表す人形 ・『ゴジラ』立像 ・1950～1970年代の学校給食再現 ・東京オリンピックポスター

(4) 指導観

東金市は、昭和28年に、当時の東金町と5村が合併し、翌年に福岡村と源村の一部を加え東金市が誕生した。東金市は、北側に丘陵があり、南側には平野が広がっている地域である。本校の学区は、東金市の中心部に位置している。東金駅や市役所も学校のすぐ近くにあり、東金市の発展とともに成長してきた学校でもある。

「先生のための歴博活用講座」を受講した際、博学連携の取り組みを知り、小学校中学年の社会で歴博を活用できないか考えた。第3学年の担任となり、校外学習にて歴博を見学して、「古い道具とむかしの暮らし」の授業実践を行ったが、道具のみに注目した結果、道具の使い方や少しずつ便利になったという感覚にしかならず、中途半端な実践となってしまった。そこで、今年度は、非来館型だが、古い道具に注目し、ただ追うだけでなく、その時代背景を追うことにより、社会的な事象の見方や考え方を養うことができると考えた。

まず、昔の東金市と今の東金市の写真を比較することで、昔の生活について学習意欲を沸き立たせようと考えた。そして、学校内にある民具資料館から炭火アイロン、ランプ、薬研など実物を用意し、触れさせ考えることで、昔の暮らしに興味を持たせるだけでなく、生活について注目させたい。

つぎに、昔の暮らしについて興味関心を高めたところで、歴博の展示物である「京都西陣の台所復元」、「同潤会アパート復元」、「日本住宅公団団地実物大再現」の写真を掲示し、生活の様子の変り変わりについて比較し、気づいたところをまとめる。そして、次の時間に、グリル付きのガスコンロの台所、IHのシステムキッチンを経験した展示物と比較・分類していくことで、自分たちの今の生活と、より深く関連付けて考えることができるよう工夫した。

そして、さらに第6展示室の資料を活用し、人々に何があったのかを知ることで、道具の変り変わりや生活の変化を違う視点で捉えさせたい。

また、第6展示室は、戦前からの展示物もあるが、小学校第3学年であることも考慮し、戦後からの展示物を中心に扱うことで、追究する内容がずれていかないようにするとともに、児童にわかりやすいと感じてもらえるような資料を選んで取り扱うよう留意する。

道具の移り変わりだけでなく、その時代の出来事や人々の暮らしを、児童が知ることにより、「視点や考え方」が鍛えられ、社会的事象の見方・考え方を養うことができると考え、本実践に取り組んだ。

3 指導計画（8時間扱い）

過程	時間	○学習活動及び内容	□指導上の留意点 ■評価の観点
導入	1	昔の暮らし ○昔の東金市と今の東金市や昔の小学生には、どんな違いがあるのか話し合う。	□副教材(わたしたちの東金)を活用して、建物や家のつくり、小学生の服装などに注目させる。 ■昔と今の違いを比較し、意欲的に調べることができる。(関)
展開	2	身のまわりにある古い道具探しをする。 ○古い道具について、わかったことや感じたことを話し合う。	□学校の資料館を活用する。 □それぞれの道具について疑問に思ったことやわかったことをノートにまとめていく。 ■古くから残る道具に関心をもち、その道具について意欲的に調べることができる。(関) ■古い道具の使い方についてわかったことや感じたことを話し合い、学習問題を見いだそうとしている。(思)
	2 (歴博活用)	昔の暮らし ○歴博の展示室を使って、昔の様子について考える。 ・京都西陣の台所 ・同潤会アパート ・日本住宅公団団地実物大再現 ・ガスコンロのある台所 ・IHシステムキッチン	□写真の中から、今でも見かけるものや古い道具に着目させ、どのように使うかを話し合うようにさせる。 □そのころの生活の様子について話し合うようにさせる。 □「わくわく！探検れきはく日本の歴史」を活用する。 ■古い道具や昔の様子について、写真から読み取っている。(技) ■古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子について理解している。(知)
	1 (歴博活用)	昔の暮らし ○歴博の展示物(第6展示室)を使って、生活の様子について考える。 ・給食のうつりかわり ・ファッションのうつりかわり ・東京五輪ポスター ・田子倉集落再現模型 など	□今と比較し、暮らしの変化について考えさせる。 □「わくわく！探検れきはく日本の歴史」を活用する。 ■人々の願いや工夫について考え、ノートなどに表現している。(思) ■暮らしの変化は、人々の願いや知恵によるものであることを理解している。(知)

まとめ	1	<p>まとめ</p> <p>○道具の変化とくらしの変化を関連づけながら、人々の願いや工夫についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具の改良 ・くらしの向上 ・人々の願いや努力があつて道具が変わり、くらしも便利になってきた。 	<p>□道具の使い方や移り変わりだけでなく、道具とともにくらしも変化してきたことに着目させる。</p> <p>■道具の変化とくらしの変化を関連づけながら、人々の願いや工夫について考え、道具メモなどに表現している。(思)</p> <p>■道具やくらしの変化は、人々の願いや工夫によるものであることを理解している。(知)</p>
	1	<p>歴博の本を紹介するとともに、年表を作成する。</p> <p>○これまで調べた道具や生活についてわかったことを話し合い、まとめる。</p>	<p>□年表の作り方を、しっかりとおさえる。</p> <p>■道具やくらしのできごとなどについて調べたことを年表にまとめている。(技)</p> <p>■昔の人々の知恵や努力によってくらしが向上してきたことに気づき、今後のよりよい発展について考えようとしている。(思)</p>

4 実践の概要

歴博の展示室を使って、昔の様子について考える。(4、5時間目)

(1) 導入

①何年前に建てられた家か予想し、発表させる。

○児童の発表や反応

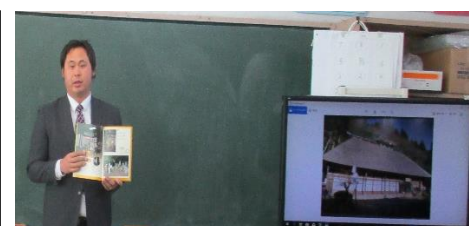
- ・30年前
- ・50年前
- ・100年前
- ・300年前
- ・500年前
- ・1000年前
- ・江戸時代
- ・戦国時代
- ・昭和



②「わくわく！探検 れきはく日本の歴史5」から、尾形家を紹介する。

○児童の発表や反応

- ・ドラマみたいな部屋
- ・仏壇が大きい
- ・畳がある
- ・泊まってみたい
- ・神様がいっぱいいる
- ・椅子がない



③今の家と、どこが違うか考えさせ、発表させる。

○児童の発表や反応

- ・木をたくさん使っている
- ・屋根が大きい
- ・家が横に長い
- ・窓みたいなのが広い
- ・2階建てじゃないと思う
- ・コンクリートがない
- ・本のなかの家は、古い旅館みたい
- ・今もあるのかな？
- ・東金市にもあるのかな？

- ・児童は、写真の家や本などに興味をもち、意欲的に発表することができた。特に、材料に着目して資料を読み取る児童が多くみられた。また、家の中を紹介した際、「こんな旅館に泊まったことがある」という児童がおり、泊まった感想を求めると、「なんか落ち着く」と答えた。

(2) 展開1

①それぞれの道具の違いや台所の様子のうつりかわりなどについて話し合う。

- ・写真をみながら、比較させ、変化したところに着目させる。また、同潤会アパートについて、歴史年表を活用しながら、関東大震災後に建てられたことを説明し、どのような時代であったかを知らせる。
- ・写真では、細かく見にくいところもあるので、テレビを使い、拡大できるようにしておく。

②比較・検討したことをグループで共有しながら、話し合ったことをまとめていく。

③まとめを発表する。

○京都西陣の台所復元



○同潤会アパートの復元



○児童の発表や反応

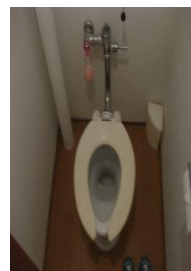
- ・木を燃やしているところから、ガスで火をつけている。
- ・かまをつかっているのは、変わらない。 ・マッチを使っている。
- ・水が蛇口が変わっている。 ・食器が少ないけど、上にも棚がある。
- ・おひつは、二つとも同じ写真で使われている。
- ・ビンがあるけど、何が入っているのか気になる。
- ・アパートは、すごくせまいけど、床がある。
- ・アパートには、電気が使われていると思う。
- ・鉄瓶がある。 ・ドレッサーみたいな物がある。 ・カーテンがある。
- ・テーブルはあるけど、椅子はない。

- ・二つの写真を比較していくなかで、類似しているものにも気づくことができた。同じ時代で全く違うと感じていた児童もおひつや鉄びんなどを見つけると、「便利なものは生活がよくなっても変わらないんじゃないのか」と、追究する姿もみられた。
- ・まとめでは、くらしが便利になった内容で、まとめる児童が多くみられた。また、どうやって今につながるのか気になると感想を書いた児童もいた。

(3) 展開2

- ①前時の時間を振り返り、変化してきたことを確認する。
- ②歴博の展示物（日本住宅公団団地）と、ガスコンロ、IHキッチンを掲示し、比較・検討をする。
- ③比較・検討したことをグループで共有しながら、話し合ったことをまとめていく。
- ④まとめたことを発表する。
- ⑤前時の学習と本時の学習を振り返らせ、昔の暮らしについて考えたことノートにまとめる。

○日本住宅公団団地実物大再現



○ガスコンロとIHキッチン



○児童の発表や反応

- ・前のアパートが今っぽくなってきている。
- ・棚の下にトースターがある。
- ・冷蔵庫の上にあるものはなんだろう。
- ・テーブルや椅子がある。
- ・台所にテーブルやいすがあって、せまい。
- ・ベランダに洗濯機があるのは、なんでだろう。
- ・洗濯機にもつとところがついている。
- ・トイレのふたがない。
- ・ガスコンロが小さい。
- ・炊飯器みたいなものがある。
- ・やかんがある。
- ・トイレは、今と変わらない。
- ・お風呂がせまくて一人しか入れない。

(4) まとめ（児童のノートより）

- ・くらしがどんどん、べんりで楽になっていくことがわかった。
- ・火をつけるのが簡単になっていった。
- ・手を使うことがどんどん少なくなっている。昔は、火をつけるだけでも大変そうだけど、今はボタンでなんでもできるようになっている。
- ・今と昔では、いろいろなものが進化している。いつかわたしたちの時代も古くなっていく。

○歴博の展示物（第6展示室）を使って、生活の様子について考える。（6時間目）

(1) 戦後からの生活の変化について歴博の展示物を使って考える。

① 学校給食を古い順番に並べるクイズを行う。

- ・お椀にある白い物をスープと捉えてしまう児童がいるので、脱脂粉乳という飲み物であることを説明する。

② 正解を発表する。

○ 1950年～1970年代の学校給食再現



児童の反応

- ・昔の給食は、品数が少ない。
- ・あまりおいしくなさそう。
- ・牛乳が違う。
- ・栄養がなさそう。
- ・昔の献立表が知りたくなった。
- ・箸からスプーンに変わっている。
- ・お皿がひとつだけ違うから、一番新しい給食だと思う。

③ ファッションの年代順クイズを行う。

④ 正解を発表する。

- ・正解を発表する際、その時代に登場したインスタントコーヒー、コカ・コーラ、スナック菓子、マクドナルドを紹介する。

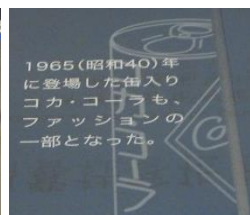
○ 昭和30～40年代のファッションを表す人形



1962(昭和37)年から、
瓶入りコカ・コーラは
自動販売機で買える
ようになった。
1.0円/35円



スナック菓子の
1964(昭和39)年、「やめられないとま
プレーズとともに誕生した。



1965(昭和40)年
に登場した缶入り
コカ・コーラも、
ファッションの
一部となった。



ファストフード時代の幕開け
1971(昭和46)年に銀座三越の1階にオープンしたマクド
ナルド1号店を皮きりに、ファストフード店が競々と出現した。

児童の反応

- ・どれが古い服なのかわからない。
- ・ミニスカートは今でもみかける。
- ・今でも着られそうな服がある。
- ・ジーパンは今でもはいている。
- ・スーツなのに古いのはなんでだろう。
- ・コーラの値段が安い。
- ・女の人と男の人は手にコーラをもっている。
- ・かっぱえびせんは今でも食べる。
- ・マクドナルドに人がたくさんいる。
- ・マクドナルドは、もっと新しいと思っていた。

⑤戦後からの生活の変化について説明する。

- ・このほかにも生活の変化がわかる展示物があるが、児童の実態や学年段階に合わせた資料を活用する。
- ・言葉がわからないものがあるので、簡単に説明する。

◎農業の変化



◎集団就職や出稼ぎ



◎スーパーの誕生と夢の島



◎終戦を告げる新聞と闇市



◎水俣病「怨」の旗



◎ゴジラ



◎東京オリンピック



◎田子倉集落



⑥歴博を活用した授業を振り返り、生活が変化していくことについて自分の考えをまとめる。

- ・その時代の変化について考えるように声かけを行い、一部の展示物のみのまとめにならないようにさせる。

児童のまとめ

- ・時代の流れは、人が想像するよりも、とっっても速いことがわかった。
- ・昔は自然と一緒に生きてきた。
- ・昔はかまどだったけど、今は炊飯器になったり、椅子があったりして、もっと昔のくらしや歴史を知りたいと思った。
- ・だんだん生活が変化していく中で、色々と便利になっていったことで、トラブルや事故が起きるようになった。
- ・昔の人は手で色々やっていたけど、今は便利になっている。自分が大人になったときは、もっと便利な物が生まれているかもしれない。
- ・道具が変化していくなかで、なくなっていくものや大きな事件があることがわかった。

5 成果と課題

(1) 成果

- ・歴博の資料を活用し、その時代の歴史的な背景を知ること、古い道具を説明していく授業よりも、社会的事象の見方・考え方を意識することができた実践となり、意欲的に課題を追求したり解決したりする姿がみられた。
- ・自然と児童が資料を現在と比較するようになり、グループ活動でもたくさんの意見がでていた。教師主体にならず、児童が率先して話し合い、まとめていこうとすることからも、思考や判断、表現する力が高まった。
- ・児童が歴博に興味をもち、休み時間に歴博の本を読む児童が増えたり、歴博に行ったりしてみたいという児童が増えた。

○アンケート結果（28名）

質問内容	授業前→授業後
歴博を知っていますか。	知っている・・・3名→28名 なんとなく知っている・・・4名→0名 あまり知らない・・・10名→0名 全く知らない・・・11名→0名
歴博の本を読んでみましたか。 ※わくわく探検!れきはく日本の歴史を学級文庫に設置する。	全部読んだ・・・2名→6名 何冊か読んだ・・・1名→11名 1冊手にとってみた・・・10名→8名 全く読んでいない・・・15名→3名
歴博に行ってみたいと思いますか。 ※簡単に歴博について説明する。	行ってみたい・・・2名→16名 興味がわいた・・・3名→8名 あまり興味がない・・・10名→3名 全く興味がない・・・14名→1名

(2) 課題

- ・小学校第3学年では、地域と密接に関わる単元が多くあるため、「必要ないもの」として扱われてしまうことがあるので、素地を伸ばしていく意味でも道具だけでなく、より生活に密着した「必要なもの」としていきたい。
- ・新学習指導要領では、自分が住んでいる地域としての単元の一部となってしまうため、東金市と戦後からの成長を比較するなど、歴博をどのように活用することができるのか再検討していく必要がある。
- ・昔のくらしの大変さを伝えられる場面があると、より資料を活用しやすくなると感じた。児童のなかには、「昔のくらしの方が勉強なくてよさそう」、「火を毎日使えるのは楽しそう」など、自分にとって都合のよいものを基準として考えてしまうので、手立てを考えたい。
- ・ライターやマッチなど、名前は知っていても見たことがない児童がいることに驚いた。教師と児童のギャップを因る上でも、事前にアンケートを取り、確認しておく必要があると感じた。

○生活の様子のおつりかわり

名前 _____



Blank space for labeling the first image.



Blank space for labeling the second image.



Blank space for labeling the third image.



Blank space for labeling the fourth image.



Blank space for labeling the mannequin images.



1962(昭和37)年から、
瓶入りコカ・コーラは
自動販売機で買える
ようになった。
1.00円/35円



のうぎょう

ダムによってしずむ町
(1956年)

集だんしゅうしょくや出かせぎ



スーパーマーケット (1953年)
夢の島のごみ問題 (1957年)



○生活が変化していくことについて、自分の考えをまとめよう。

Blank space for writing an opinion on the changes in life.

東京オリンピック (1964年)



みなまた病 (1956年)



せんそうの終わり (1945年)とやみ市



ゴジラ (1954年)

